

エッセイ・コンクール、子育て支援活動の表彰、女性研究者への支援 3公募事業の募集を開始!!

住友生命保険相互会社（社長 佐藤 義雄）は、子育て支援事業『未来を築く子育てプロジェクト』（後援：厚生労働省）の3公募事業、「エッセイ・コンクール」、「子育て支援活動の表彰」、「女性研究者への支援」の募集を開始します。

2007年度にスタートしたこのプロジェクトは、今年度で第4回を迎えます。昨年度は過去最多となる合計1,713通の応募があり、40名の方々が受賞されました。今年度も、多くの方々のご応募、ご参加をお待ちしております。

■募集概要

【①エッセイ・コンクール】

内容：子育てをテーマにしたエッセイを幅広く募集します。

表彰：◎内閣府特命担当大臣（少子化対策）賞（最優秀賞の中から1点）／表彰状

◎厚生労働大臣賞（最優秀賞の中から1点）／表彰状

◎最優秀賞（5点）／表彰状、副賞：旅行券20万円分

◎優秀賞（20点）／表彰状、副賞：図書カード3万円分 ☆応募者全員に参加賞を贈呈

【②子育て支援活動の表彰】

内容：より良い子育て環境づくりに取り組む個人・団体を募集します。

表彰：◎内閣府特命担当大臣（少子化対策）賞（未来大賞受賞者の1組に授与）／表彰状

◎厚生労働大臣賞（未来大賞受賞者の1組に授与）／表彰状

◎未来大賞（未来賞受賞者より2組）／表彰状、副賞：未来賞とあわせて計100万円

◎未来賞（10組程度）／表彰状、副賞：50万円

☆表彰数を例年の5組程度から10組程度に増やし、子育て環境の整備をさらに推進します。

【③女性研究者への支援】

内容：育児のため研究の継続が困難になっている、もしくは育児を行いながら研究を続けている女性研究者に対し、研究助成を実施します。

表彰：スマセイ女性研究者支援（10名程度）／年間100万円（上限）を2年間まで支給

■審査員

実行委員長：堀田力氏（さわやか福祉財団理事長、弁護士）

実行委員：池田守男氏（資生堂相談役）、大日向雅美氏（恵泉女学園大学大学院教授）、
奥山千鶴子氏（特定非営利活動法人びーのびーの理事長）、金田一秀穂氏（杏林大学外国語学部教授）、吉永みち子氏（作家）、以上五十音順 横山進一（住友生命保険取締役会長）

■募集期間

2010年6月1日（火）～9月30日（木）「未来を築く子育てプロジェクト」事務局 必着

■応募方法

「未来を築く子育てプロジェクト」事務局（〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-14-7 光ビル4F）へ郵送。
エッセイ・コンクールについては、webサイトからも直接ご応募できます。

■発表

2011年2月の表彰式および「未来を築く子育てプロジェクト」webサイト
（<http://www.sumitomolife.co.jp/child/>）内等で発表します。

【①エッセイ・コンクール 募集概要】

趣旨	子育て・子育てにまつわるエッセイを幅広く募集します。 地域社会や家族ぐるみで助け合う事例など、子どもが社会性を習得し自立するための創意工夫のある子育てを紹介します。子育ての苦勞を乗り越え、子どもが自立していく過程で、周囲が得る気づきや喜びなどの「子育てのすばらしさ」を伝えていきます。
規定 (一部抜粋)	◇応募作品は自作・未発表のもので、1人1作品。 ◇本文の字数は800字以上、1200字以内。
応募方法	◇氏名(フリガナ)、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス、性別、年齢、職業、エッセイのタイトルを記入し、応募作品を同封の上、「未来を築く子育てプロジェクト」事務局に送付ください。 ◇用紙に書かれたものかプリントしたもので応募ください。なお、webサイトからも直接ご応募できます。
締め切り	2010年9月30日(木)「未来を築く子育てプロジェクト」事務局必着
表彰	◇内閣府特命担当大臣(少子化対策)賞(最優秀賞の中から1点)／表彰状 ◇厚生労働大臣賞(最優秀賞の中から1点)／表彰状 ◇最優秀賞(5点)／表彰状、旅行券20万円分 ◇優秀賞(20点)／表彰状、図書カード3万円分 ☆応募者全員に参加賞をお贈りします。

【②子育て支援活動表彰 募集概要】

趣旨	より良い子育て環境づくりに取り組む個人・団体を募集します。(規模は問いません) 各地域の参考になる特徴的な子育て支援活動を社会に広く紹介し、他地域への普及を促すことで、子育て環境を整備し、子育ての不安を払拭することを目的としています。
規定 (一部抜粋)	◇子育て支援に資する諸活動を継続的にしていること。 ◇活動内容が社会に認められ、ロールモデルとなりうるものであること。 ◇活動の公表を了承していただける個人・団体であること。
応募方法 (一部抜粋)	◇氏名・団体名(フリガナ)、代表者名(フリガナ)、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス、性別、年齢、活動内容を記入し、応募資料、必要資料を同封の上、「未来を築く子育てプロジェクト」事務局に送付ください。 ◇応募資料：【応募活動について】活動を始めた経緯(200字程度)、活動を始めた時期・活動期間、スタッフ数、会員数、年間事業費収入の内訳、活動の特徴(200字程度)、活動地域における子育て環境の課題(200字程度)、具体的な活動内容(200字程度)、現在の成果(200字程度)、副賞で実現したいこと(200字程度)、過去の受賞歴 【推薦書】応募者名・団体名、推薦者氏名・職業・住所・連絡先、推薦理由・体験しての感想など(400字程度) ◇必要資料：活動風景の写真や活動内容がわかるような資料
締め切り	2010年9月30日(木)「未来を築く子育てプロジェクト」事務局必着
表彰	◇内閣府特命担当大臣(少子化対策)賞(未来大賞受賞者の1組に授与)／表彰状 ◇厚生労働大臣賞(未来大賞受賞者の1組に授与)／表彰状 ◇未来大賞(未来賞受賞者より2組)／表彰状、副賞50万円(未来賞と合わせて計100万円) ◇未来賞(10組程度)／表彰状、副賞50万円

【③女性研究者への支援 募集概要】

趣旨	育児のため研究の継続が困難となっている女性研究者および、育児を行いながら研究を続けている女性研究者が、研究環境や生活環境を維持・継続するための助成金を支給します。人文・社会科学分野における萌芽的な研究の発展に期待する助成です。
規定 (一部抜粋)	◇人文・社会科学分野の領域で、有意義な研究テーマを持っていること。 ◇原則として、応募時点で未就学児（小学校就学前の児童）を育てていること。 ◇原則として、修士課程資格取得者、または、博士課程在籍・資格取得者であること。 ◇2名以上の推薦者がいること。（うち1名は、従事した、または従事する大学・研究所等の指導教官または所属長の推薦が必須） ◇現在、大学・研究所等に在籍しているか、その意向があること。 ◇支援を受ける年度に他の顕彰制度、助成制度で研究助成を受けていないこと。
応募方法 (一部抜粋)	◇氏名（フリガナ）、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス、年齢、お子さまの年齢、勤務先・所属先、その連絡先、主な研究テーマ、主な所属学会を記入し、応募資料、必要資料を同封の上、「未来を築く子育てプロジェクト」事務局に送付ください。 ◇応募資料：研究のタイトル、研究の目的と概要（400字程度）、研究する上で一番困っていること（400字以内）、研究計画書、助成金の主な使途、略歴（現在の所属、定職、役職も必ず記入）、助成取得の状況（過去・現在の奨学金、助成金の取得状況）、推薦書 ◇必要資料：研究を証明できる資料（最近の論文など、1、2点でけっこうです。）
締め切り	2010年9月30日（木）「未来を築く子育てプロジェクト」事務局必着
表彰	◇スミセイ女性研究者支援（10名程度） 助成金として1年間に100万円（上限）を2年間まで支給します。

【3公募共通事項】

実施体制	主催：『未来を築く子育てプロジェクト』実行委員 協賛：住友生命 後援：厚生労働省
審査員	実行委員長 堀田 力氏（(財)さわやか福祉財団理事長、弁護士） 実行委員 池田 守男氏（㈱資生堂相談役） 実行委員 大日向雅美氏（恵泉女学園大学大学院教授） 実行委員 奥山千鶴子氏（特定非営利活動法人びーのびーの理事長） 実行委員 金田一秀穂氏（杏林大学外国語学部教授） 実行委員 吉永みち子氏（作家） 以上五十音順 実行委員 横山 進一（住友生命保険（相）取締役会長）
宛先 問合せ先	「未来を築く子育てプロジェクト」事務局 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-14-7 光ビル4F 電話：03-3265-2283（平日10:00～17:30） w e b サイト（ http://www.sumitomolife.co.jp/child/ ）
発表	2011年2月の表彰式（都内）およびw e b サイトなどで発表します。

※それぞれの詳細については、「未来を築く子育てプロジェクト」のw e b サイト（<http://www.sumitomolife.co.jp/child/>）をご参照ください。

以 上